

11 月 29 日 : 銀行株が売られ、VN 指数は続落

マーケットはまちまちの動きとなった。ホーチミン市場の VN 指数が下落した一方で、ハノイ市場の HNX 指数は上昇した。

銀行セクターへの一部、利益確定売りの動きも見られ、投資家心理の重しとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.55% (8.19 ポイント) 安の 1,484.84 ポイントで取引を終えた。先週木曜日の取引で 1,500 ポイントの大台にのせたものの、前日の取引では 0.52% 安と大台を割り込んでいた。

南アフリカで確認された新たな変異株による世界経済、サプライチェーンへの影響に対する警戒感から株価は下落した。

騰落別では 293 銘柄が下落、187 銘柄が上昇した。出来高は前日と比べてわずかに減少したものの、引き続き高い水準を保った。売買代金は前日比 8.4% 減の 30 兆 300 億ドン (13 億米ドル) となった。

銀行、製造業、エネルギーセクターを中心に多くの大型株が売られ、指数の重しとなった。

VN30 指数は 0.86% (13.51 ポイント) 安の 1,553.04 ポイントで取引を終えた。

金融ニュースサイト vietstock.vn によると、同指数採用銘柄のうち 4 銘柄が上昇、26 銘柄は下落した。

銀行株は下げを主導した。中でもベトコムバンク (VCB) +3.71% と VN30 指数の下落率でトップとなり、テクコムバンク (TCB) +3.15% とそれに続いた。

マサングループ (MSN)、ペトロベトナムガス (GAS)、ベトナム投資開発銀行 (BID) といった銘柄も指数の重しとなった。これらの銘柄は 2.09~3.17% 値下がりした。

不動産セクターの上昇は、マーケットを下支えした。中でもビンググループ（VIC）とビンホームズ（VHM）は最も上昇した。特にビンググループは+7%のストップ高を付けた。

しかしハノイ市場の HNX 指数は 0.43% 高（1.95 ポイント）高の 460.58 ポイントだった。

売買代金は約 1 億 6,360 万株で、売買代金は 4 兆 8,000 億米ドルとなった。

外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ）で合わせて 5,620 億 3,000 万ドルを売り越した。ホーチミン市場で 3524 億 1000 万ドルを、ハノイ市場では 2,096 億 2,000 万ドルを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。